

名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



卓展2024 プロダクトデザインの卓の学生たち(→P8)

特集

- 特集① 行政課題・地域課題の解決へ
名古屋市と連携した**研究推進事業を開始**
- 特集② **共同調達室**が新設されました
- 特集③ 2025年4月 大学院「**データサイエンス研究科**」を開設します

- 01 特集①
- 02 特集②③
- 03 NCU TRY!!
- 04 TOPICS
- 07 国際交流
- 08 学生の活躍
- 09 学生の受賞／交流会だより
- 10 受賞関連／教員著書・発行物紹介
- 11 イベントカレンダー／寄附顕彰

DONATION

あなたの力が支えます

ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：総務部 総務課

tel.052-853-8005

行政課題・地域課題の解決へ 名古屋市と連携した研究推進事業を開始



2023年12月に本学に新設された「なごや先端研究開発センター」における新たな研究力強化の取り組みとして、名古屋市の協力・連携のもと、大学提案型による行政課題・地域課題の解決を目指す「共創まちづくり研究推進事業」を開始し、2024年度から2年度にわたり取り組む50件の研究課題を採択しました。

共創まちづくり研究推進事業とは

行政課題、地域課題の解決や地域の発展を目的に、独創的・先駆的な学術研究、また、地域のまちづくりや市民の健康増進に寄与・貢献する応用研究等に対し、研究費(共創まちづくり研究推進費)を1件あたり最大100万円/年を2年度にわたって支援します。

本学の研究シーズと地域ニーズを共有・マッチングし、市などの多様な主体と連携・協働して取り組むことで、研究成果の社会実装、地域貢献につなげ、自治体・民間等からの寄附講座設置・共同研究の促進を図るものです。

PICK UP! 採択課題の紹介

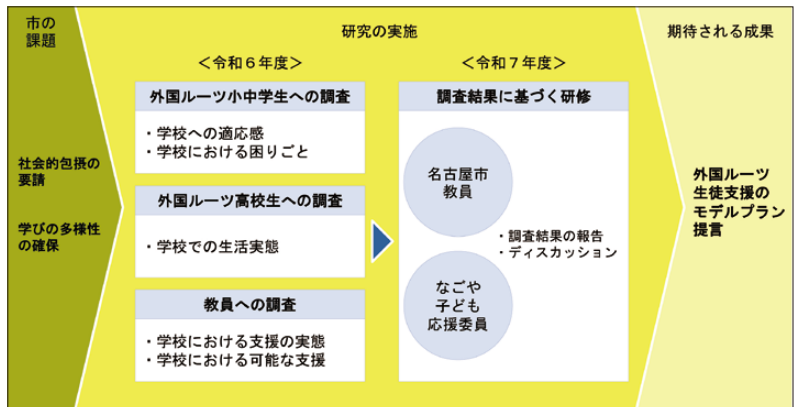
●50課題はこちらからご覧いただけます→



外国にルーツのある子どもたちの心理発達支援の試み

研究代表者	人間文化研究科 久保田 健市 教授
研究課題の概要	本研究では、子どもたちと教員に現状の困難点を調査し、名古屋市教育委員会への意見聴取や研修を重ね、外国にルーツのある子どもたちの支援の方策について、モデルプランの提言を目指します。
名古屋市からのコメント	外国にルーツのある日本語指導を必要とする児童生徒は、学校生活や周りの人々とのコミュニケーションに不安を抱えていることが多く、心理面のサポートが重要です。母国語を習得する前到来日する児童もあり、文化間移動によって自己のアイデンティティの確立が困難なケースも見られます。また、中学生では、日本語が理解できないために、進路や将来に不安を感じている生徒も多いです。こうした児童生徒に対して、心理発達支援の在り方を研究することは大変意義深いと考えます。 (教育委員会事務局 教育支援部 義務教育課)

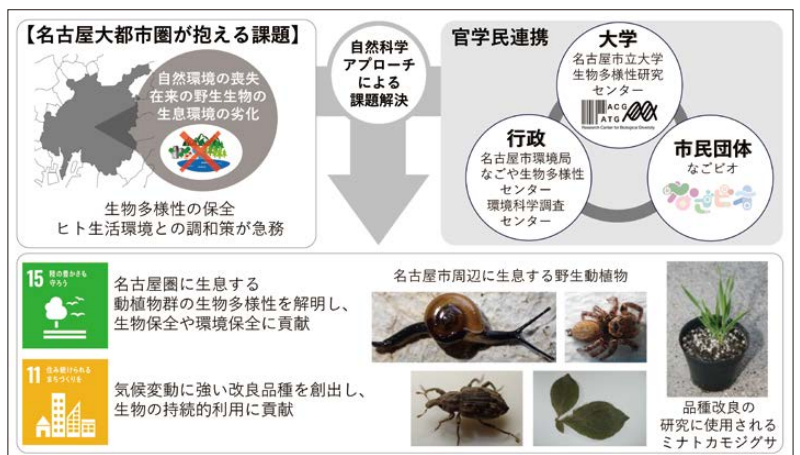
研究概要図



名古屋圏における動植物の保全と持続的利用を目指した生物多様性研究

研究代表者	理学研究科 熊澤 慶伯 教授
研究課題の概要	本研究の成果は、大都市名古屋圏における生物保全活動の現場に還元されるような実用的なものとなることが期待されます。また、高校生を含む市民との連携活動により、生物多様性の主流化と環境保全活動の次世代継承に貢献することも目指します。
名古屋市からのコメント	生物多様性の保全を推進するためには、自然科学的アプローチにより、自然の持つ価値や保全活動の効果を正確に評価することが非常に重要です。現在、このプロセスについては、研究・教育機関に依存する部分が大きく、本研究代表者は、これまでも市民・行政との協働による生物多様性研究の実績があります。成果が幅広い市民や保全現場に還元されることで、本市における保全活動の効率化や継続性の確保に大きく寄与することが期待されます。 (環境局 環境企画部 環境企画課)

研究概要図





特集
2

共同調達室が新設されました

本学では、6病院となる附属病院群を統括する一部門として、この春に共同調達室を新設しました。共同調達室では、各病院で使用する医薬品および医療材料等を取りまとめて共同購入することにより、支出経費の削減ならびに業務の効率化、品目の共通化の推進に取り組んでいます。定期的に開催している医療材料ワーキングでは、市大病院副院長林祐太郎委員長の発案により、6月は西部医療センター、8月は市大病院、さらに東部医療センターへ、6病院の医師と事務職員が集結し、顔を突き合わせながら現場の物品、動線および配置について確認し、情報共有を行っています。この活動は、各々の病院の認識に留まっていた面々が、他病院の特徴や参考にすべき取り組みについて互いに学び合う大変有意義な機会となっています。



西部医療センターの三井病院長代行より手術室の説明を受ける事務職員



(左から)西部医療センター 梅本副院長、市大病院 林副院長、みらい光生病院 若林副院長、みどり市民病院 若杉院長補佐。
※東部医療センター 水野病院長補佐はWeb参加

医薬品ワーキングでも7月に市大病院へ各病院の薬剤師、事務職員が集まり、医薬品の調達、品目の共通化について活発な意見交換がなされています。近年の円安や物価上昇といった経済情勢を受け、調達業務を取り巻く環境は厳しい状況が続くことが予想されますが、今後も精力的に共同調達を推進し、6病院が一丸となって、より安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。

特集
3

2025年4月 大学院「データサイエンス研究科」を開設します



文部科学省あてに申請しておりました「データサイエンス研究科」の設置届出が2024年6月21日付で受理されました。あらゆる分野で活躍できる実践的なデータ活用能力を身につけた高度専門人材を育成するため、社会人の学びも視野に入れたデータサイエンス学部へ接続する修士課程として、2025年4月開設に向け、準備が進んでいます。

データサイエンス研究科での学び

統計学分野、AI等の情報工学分野に加え、気候と農業、宇宙天気、情報検索やテキストマイニング、医療データシミュレーションや健康科学、公共政策や会計、投資工学など、データ活用分野を幅広く設定したプログラムを提供します。また、実務家を講師として招聘する特別講義、データサイエンスの活用事例を現場で体験し、企業が直面する課題解決策の立案・提案につなげる演習科目等により、実践力の修得を重視した教育を実施します。

説明会を開催しました!

2024年7月8日(月)に大学院合同説明会、7月27日(土)にはデータサイエンス研究科説明会を開催し、研究科の紹介や個別相談会を実施しました。

チラシの詳しい内容や
入試情報は
こちらから
ご覧いただけます。



名古屋市立大学大学院
データサイエンス研究科

概要	
研究科	データサイエンス研究科
専攻	データサイエンス専攻(修士課程)
入学定員	1学年15名
授業場所	量子(山の側)キャンパス
学位称号	修士(データサイエンス)

2025年4月入学(修士課程)
大学院生募集

名古屋市立大学では、あらゆる分野で活躍できる実践的なデータ活用能力を身につけた高度専門人材を育成するため、社会人の学びも視野に入れたデータサイエンス研究科を2025年4月に開設します。

<p>特色1</p> <p>多様な分野での研究展開</p> <p>統計学や情報工学、ビッグデータ活用、経済、経営、気候や健康に関わる情報など、多様な分野でデータサイエンス研究を展開します。</p> <p>詳しくは募集要項の教育紹介をご覧ください。</p>	<p>特色2</p> <p>実践的なデータサイエンス教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 修士論文研究指導 実務的な課題解決へのデータサイエンス活用を体得する演習科目 実務家による特別講義 等々 	<p>特色3</p> <p>社会人の受け入れに対応</p> <p>働きながら学ぶ社会人に配慮した時間割や、2年間の学費で最大4年間で修める長期修業制度を設けています。</p> <p>詳しくは募集要項をご覧ください。</p>
--	--	--

入試情報

選抜方法 推薦型選抜および一般選抜

入試日程

第1回	9月21日(土)~22日(日)
第2回	12月1日(日)
第3回	2月15日(土)~16日(日)

※ 2回生入試は、1回生の合格者数が入学定員に満たない場合のみ実施します。
3回生入試は、1回生・2回生の合格者数が入学定員に満たない場合のみ実施します。

募集要項についてはこのQRコードもしくは下記URLにあるページからご確認ください。
募集要項ページURL: <https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/graduate/da>

最新募集要項はこちら

データサイエンス研究科募集チラシ

第四期中期計画期間が始まり、目標の1つに「DXの推進」を掲げ、「教育」「研究」「医療」「業務運営」の各領域において様々な取組みを検討・展開していくための体制として「大学DX推進本部」を整えました。またこの7月1日(月)に第1回大学DX推進本部会議を開催いたしました。会議ではDX推進の概要や今後検討すべき事項、それぞれの領域からの報告のほか、活発な意見交換が行われ、全学的なDX推進に向けての「第一歩」を踏み出しました。教職員一人ひとりがDX意識をもち、大学全体のさらなる発展を目指してまいりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いたします。



第1回 大学DX推進本部会議の様子

KEY PERSON 1



学長補佐(教育研究DX) データサイエンス学部准教授 小川 泰弘

2024年4月より、学長補佐(教育研究DX)を務めます小川泰弘と申します。大学におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)は、教育・研究・業務運営に大きな利点をもたらします。本学におけるDX推進は道半ばであり、DX化を進めるべきところは多岐に渡ります。例えば、教育DXにおいては、Learning Management System(LMS)の導入により、教材のデジタル化、授業のオンデマンド配信、成績管理の一元化を目指してまいります。これにより、学生に対する学習支援と教員の負担軽減が実現できます。また、研究DXにおいては、現在、研究データポリシーなどの策定を進めております。今後は、研究データ管理シス

テムの導入により、研究プロジェクトの進捗管理の効率化、共同研究の促進、研究成果の再現性の確保などを進めていきます。重要なのは、DXは単なる作業のデジタル化ではなく、業務プロセス自体を根本から変革することです。これにより、業務の効率化と質の向上が期待できます。そのためには、教職員の皆さま全員の協力が必要です。研修を通じてデジタル技術の理解と活用法を習得し、システムやインフラの整備を進めることで、スムーズな移行を図ります。学生や教職員の声を積極的に取り入れ、使いやすい仕組みを構築することが成功の鍵です。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



小川学長補佐(中央)とDX推進部署のメンバー

2 KEY PERSON

学長補佐(医療DX) 医学研究科教授 片岡 洋望

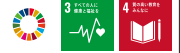
2023年4月よりDX担当学長補佐を拝命しております片岡洋望です。2024年1月から医療情報システムのエキスパートである柳谷良介先生を特任教授に迎え、4月に宇佐見剛室長のもと医療DX推進室が正式に発足しました。市大病院群全体の医療DXの推進に取り組んでおります。



(前列) 左から平松病院企画局長、片岡学長補佐、柳谷特任教授
(後列) 野口病院統括部長(中央)と医療DX推進室のメンバー

西部医療センターと市立大学病院の電子カルテの更新を皮切りに、市大病院群全体の電子カルテの更新を検討しています。この取り組みにより、市大病院群の2,223床が一つの病院であるかのごとく機能する最先端のシステムを構築し、患者さんの利便性向上、職員の働き方改革の促進、ビッグデータ活用による研究の促進、病院経営の可視化などによる経営戦略への貢献を実現したいと考えております。今後は市大病院群が一丸となって、医療の未来を切り拓くことができる最先端の医療DXを実現することを目標としております。皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願申し上げます。





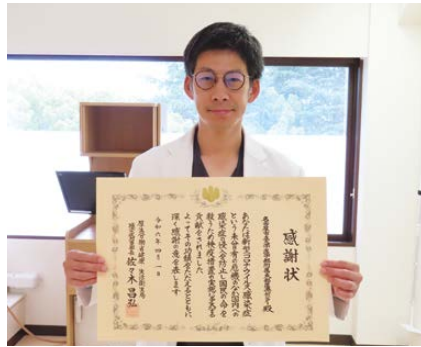
東部医療センター 新興・再興感染症への取り組み

厚生労働省からのコロナ対応への感謝状授与

東部医療センターの高次ウイルス感染症センター(コロナ専用病棟=旧5階北病棟)は2024年3月31日(日)に閉鎖しました。当院は、2020年2月に名古屋市における最初のコロナ患者受入を行い、その後、このコロナ専用病床22床を中心に市内で最も多くの入院対応を行った医療機関の一つです。こうしたコロナ対応への功績が称えられ、厚生労働省から感謝状を授与されました。

感謝状を手にしているのは、副センター長として、立ち上げから閉鎖まで現場の最前線をマネジメントし続けた村井俊介講師(離島医療従事のため2024年6月退職)です。

これまでコロナ専用病棟の運営にご協力いただいた多くの学内外の皆さま方には、この場をお借りして心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



寄附講座(臨床感染症学)を新たに設置

この寄附講座は、感染症対策をリードする人材の育成、感染症に関する医学的な調査研究、地域に対する感染症の啓発等を通じて、新興・再興感染症発生に備えた医療提供体制を構築するとともに、感染症学分野における医学の発展に寄与し、市民の健康を守ることを目的としています。

東部医療センターは、感染症指定医療機関として平時から感染症病床を有する市内唯一の大学病院であり、これまでのコロナ診療における経験やノウハウを生かせることを期待され、このたびの設置に至りました。

設置場所: 東部医療センター
寄附者: 名古屋市
設置期間: 2024年6月1日~2029年3月31日
担当教員: 伊東 直哉(感染症学分野主任教授)

薬学部 令和6年能登半島地震への支援として

薬学部教員が薬剤師として派遣されました

2024年1月1日(月)に発生した令和6年能登半島地震に対して、愛知県薬剤師会からの要請で本学薬学部教員1名が薬剤師として2回派遣されました。1月14日(日)からの災害支援では、穴水町保健センターを拠点として感染症患者に対する服薬指導や避難所でのOTC提案、衛生環境改善などの支援活動に従事しました。また、他県からのJMATに帯同し、服薬や残薬確認、医師への処方提案などを行いました。2月16日(金)からの災害支援では、愛知県JMATの薬剤師として避難所における災害支援活動として服薬指導や医師への処方提案などを行いました。今回の地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

JMATとは

日本医師会災害医療チームのことで、日本医師会が組織する災害派遣チームである。愛知県では愛知県医師会、愛知県看護協会、愛知県薬剤師会より派遣された医師・看護師・薬剤師から構成される。

OTCとは

薬局やドラッグストア等で購入できる処方せんが必要ない一般用医薬品のこと。



本学薬学部教員(右端)と愛知県薬剤師会から派遣された薬剤師

DATE 2024.7.13-8.20



2024年度 夏のオープンキャンパスを開催しました

2024年7月13日(土)~8月20日(火)にかけて、各学部で夏のオープンキャンパスが開催されました。参加者の皆さまに本学の雰囲気や魅力を体感していただく絶好の機会とあって、在学生による大学生活・学部での学びに関する話や、教員からの入試の説明などのプログラムで実施しました。当日は多くの高校生、保護者の皆様にご参加いただき、教育内容やキャンパスライフをイメージしていただくことができました。

秋のオープンキャンパスも開催します。日程は裏表紙をご確認ください。



オープンキャンパスの様子

DATE 2024.6.12



**THEインパクトランキング2024
総合ランキングで世界301-400位、
国内同率14位(6年連続国内公立大学1位)!**



2024年6月12日(水)、イギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education (THE)」が発表したTHEインパクトランキング2024において、本学は総合ランキングで世界301-400位、国内同率14位(6年連続国内公立大学1位)にランクインしました。これは、大学の社会貢献の取り組みをSDGs(持続可能な開発目標)の枠組みを使って可視化したランキングです。今後も本学では、世界をリードする大学を目指し、国際社会共通の課題に積極的に取り組んでいきます。

DATE 2024.8.3/20



最先端研究を体験するイベント ひらめき☆ときめきサイエンスを開催しました

「ひらめき☆ときめきサイエンス」は、大学における最先端の研究成果を子どもたちに発信し、大学ではどのような研究をしているのか、研究者や教員はどういうことを考えているのか、またさまざまな実験を通して科学の楽しさ・不思議さに触れてもらうことで、豊かな心と知的創造性を育てるプログラムで、日本学術振興会からの支援を受けて開催しています。

2024年8月3日(土)に医学研究科の篠原務助教、8月20日(火)に同研究科の大石久史教授により開催され、定員を大きく上回る応募の中から抽選で選ばれた皆さまに参加いただきました。

開催後のアンケートでは「将来、自分も研究をしてみたい」といった声が寄せられるなど、未来の科学者たちにその魅力を伝える機会となりました。



参加者に指導を行う篠原助教

DATE 2024.8.21



人文社会学部

SDGs将来世代創造フォーラム2024に参加しました

2024年8月21日(水)、吹上ホールで行われたSDGs将来世代創造フォーラム2024(主催:アサヒ飲料株式会社中部北陸本部)に参加し、ブース出展を行いました。当日は人文社会学部の曽我幸代准教授ゼミとSDGsアンバサダーの学生によるワークショップを実施し、参加者とコミュニケーションを取りながら、SDGsに関する考えを深めていただくとともに、本学のSDGsの取り組みを広く紹介することができました。



ブース出展の様子

DATE 2024.8.7



データサイエンス学部

サイエンス実践塾 体験研究室 ～目に見えない磁場の測定で知る宇宙天気と 私たちの安全・健康～を開催しました

2024年8月7日(水)、次世代を担う高校生を対象に、将来の仕事も含めた長期的な理工系キャリア形成ビジョンを考えてもらう機会として、愛知県経済産業局主催で「サイエンス実践塾 体験研究室」を開催。研究室体験・理工系大学生との交流会をデータサイエンス学部の能勢正仁研究室が担当し、高校生10名が参加しました。

本事業では、高校生が実際に研究室を訪問し、磁場で探る宇宙天気現象を学び、測定器による実際の測定実験、理工系大学生・研究者との交流会を行いました。その後、最先端の磁気センサを製品化している愛知製鋼株式会社へ訪問し、実際に磁気センサに触れる体験や施設見学、技術者との座談会を行いました。

大学生活・研究・仕事のやりがいなどのお話を直接聞き、実際に体験することで、高校生が将来の進路を考える貴重な機会を提供することができました。



講義の様子

DATE 2024.4.23



名古屋市立大学病院

「ANSURサージカルユニット」に関する 記者会見を行いました

2024年4月23日(火)に「ANSURサージカルユニットを用いた世界初の腹腔鏡下胆嚢摘出術」に関して市立大学病院で記者会見を行いました。

記念すべき第一例目は2024年4月16日(火)に実施しました。ANSURサージカルユニットは朝日インテック株式会社が開発した新規手術ロボットであり、当院が東海地方で初めて導入いたしました。医師の働き方改革が注目される中、ANSURサージカルユニットは「助手の役割」に特化したロボットとして開発されました。3アーム(カメラ+2つの鉗子)があり、2人分の助手の仕事ができます。これまでは助手を兼ねていた上級医が、助手の仕事すべてロボットに任せて、指導に専念することも可能です。若手教育において、手術の質を保ちながら教育効果を高めることが期待されています。今後、症例を重ねながら、前向き臨床試験の計画を進めていければと思っております。



記者会見の様子(左から瀧口教授、間瀬病院長)

DATE 2024.5.15



愛知県看護功労者として表彰されました

2024年5月15日(水)、愛知県大村秀章知事より、看護功労者として本学附属病院群から3名が表彰されました。愛知県では、保健師、助産師、看護師、准看護師として長年業務に従事し、顕著な功績があった方が表彰されます。心からお祝い申し上げますとともに今後のご活躍を祈念いたします。



名古屋市立大学病院 伊藤 加代子 副看護部長 (写真右)

この度は、「愛知県看護功労賞」を頂き、心より感謝申し上げます。仲間と共に質の高い看護について考えながら実践してきた日々、そして患者さんの笑顔に支えられてきました。つらいと感じた時も、それが成果につながる喜びも幾度となく実感し、とても充実した日々でした。今後看護の質向上に向けて一層精進して参ります。

東部医療センター 後藤 り子 看護部長 (写真左)

この度の受賞は共に患者さんと向き合い、私を支えていただいた皆さまのおかげです。深く感謝申し上げます。人生100年時代、この賞を糧に、変化する時代の中でこれからも長く医療・看護に貢献できるよう成長をしていきたいと存じます。今後よろしくお祈りいたします。

みどり市民病院 不破 幸子 看護師 (写真中央)

54年間看護師として働き、この度看護功労賞を受賞できたことを心から感謝申し上げます。看護は私の天職であり、多くの患者さんとの出会いと医療の進歩をみてきました。長年、仕事を続けられたのは患者さんの回復された笑顔や職場の仲間・家族の励ましが支えとなりました。これからも、地域に信頼されるみどり市民病院のために地域連携業務を精励に努めてまいります。

大学院 医学研究科



共同研究によって開発された自己免疫疾患を対象とした抗体医薬品候補に関して、 新薬臨床試験開始申請が受理されました

本学医学研究科の金澤智学内講師、公立大学法人横浜市立大学の佐藤衛名誉教授、山田道之名誉教授と株式会社ファーマフーズの共同研究によって開発された自己免疫疾患を対象とした抗体医薬品候補に関して、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に新薬臨床試験開始申請が受理されました。

この共同研究は株式会社ファーマフーズ独自の抗体作製技術「ALAgene® technology (アラジン テクノロジー)」を用いて行われたものです。



ALAgene® technology (アラジン テクノロジー)とは
ファーマフーズ独自のニワトリ由来抗体作製技術。哺乳動物からは作製困難な、結合力の高い抗体をニワトリから作製し、抗体医薬品として開発するプラットフォーム技術。

関連特許は日本、米国、欧州9ヶ国にて権利化されており、本学の特許技術の社会実装に向けて進んでいます。

本学の研究活動が益々活発になる中で、このような事例が増えるよう、今後とも産学官イノベーションセンターの産学官連携活動により、尽力したいと思います。

経済学部



岐阜県白川町・経済学部・株式会社コミュニティネットワークセンターが共同で企画・実施する 「共同講座」2年目がスタートしました！

本共同講座は、産官学が連携して社会課題の克服を実現できる人材を育成することを目指しています。特徴は、次の4点です。

- ①白川町が直面する現実の課題をテーマとすること
- ②経済学部生、コミュニティネットワークセンター・グループ企業の若手社員、岐阜県白川町の職員が協働すること
- ③座学とフィールドワークを通じて、全員の問題発見力、課題設定力、対策立案力、実行力を養ったり
リスクリテラシーを高めること
- ④対策を実行に移すこと

本年度は昨年度の活動成果を発展させるテーマとして「関係人口をいかに増やすか」を設定し、座学で地域ブランディング、新しい関係人口づくり事例、SNSとショートムービーを活用した発信方法を学習します。さらにグループワークで発信内容と方法を立案し、夏の集中講義のフィールドワークで実践します。



講義の様子(白川町 佐伯正貴町長)

DATE 2024.8.5-6

大学院 芸術工学研究科



西区と協働で選挙ポスター教室を行いました

2024年8月5日(月)、6日(火)の2日間、将来の有権者である小学生に選挙を身近に感じてもらうとともに、講師となる学生や参加する児童の保護者にも選挙・政治を考えるきっかけにしてもらうことを目的として、名古屋市西区選挙管理委員会と協働で、西生涯学習センターにて芸術工学研究科の森句子研究室による「夏休み明るい選挙啓発ポスター絵画教室」が開催されました。まずは模擬投票を行い、選挙のイメージをつかんでもらった後、学生によるポスター制作のワンポイントレッスンをを行い、それを聞いてから選挙に対する想いを自由に表現しポスターを作成しました。ポスターを見た子どもたちや大人が選挙と向き合いたくなる、投票に行きたくなる、そんな作品がたくさん生み出されました。



ポスター作成の様子

経済学部



卒業生が「2023年度未踏IT人材発掘・育成事業スーパークリエイター」の評価を得ました！

本学経済学部出身の小島聡太さん(2023年度卒)が、在学中に採択されたプロジェクトで「スーパークリエイター」の評価を獲得しました。

プロジェクトは、テーマパークでの満足度を最大化するためのプラン作成支援アプリケーション「TDL/TDS AIナビ」の開発です。機械学習を用いた待ち時間の予測や、進化計算を用いた最適なルートの算出により、ユーザーの希望に合わせた上で、待ち時間や移動距離を最小限に抑えるプランを提案します。アトラクションの休止などの不測の事態が生じた場合でも、ユーザーが1日を満喫できるよう設計されています。



テーマパークでの満足度を最大化するための
プラン作成支援アプリケーション詳細動画→

<受賞後のコメント>

現在もプログラムの運用を続けており、ユーザーも増え続けています。その他にも新プログラムの開発を始めたり、4月から株式会社 BuySell Technologiesに入社するなど、新たなキャリアをスタートさせました。これから様々な技術や未踏事業で得た知見や技術をもとに開発を続け、よりよい未来を創っていきます。



※プロジェクト開発については、創新vol.49「学生の活躍」にも掲載されています。

国際交流



INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

医学部 芸術工学部

CAA×NCU DESIGN PROJECT を開催しました

2024年6月15日(土)～6月23日(日)の日程で医療用酸素マスクのデザイン開発を目的とし、中国美術学院・浙江大学の学生ら16名が本学を訪問しました。芸術工学研究科の中川志信教授のコーディネートのもと、芸術工学部・医学部の学生と医学研究科新生児・小児医学の岩田欧介准教授・みどり市民病院呼吸器・アレルギー内科久保仁嗣部長と看護部がプロジェクトに参加し、熱い議論が交わされました。

医療用酸素マスクは、高度急性期から在宅まで幅広い年齢層の患者さんが使用されています。教育・研究と診療の現場との連携により、新たな発想による機能的なマスクの開発が期待されます。今回の成果をさらにオンライン発表会でブラッシュアップし、中国美術学院主催国際デザインコンペDIA (Design Intelligence Award)への応募や製品化を目指していきます。



酸素療法の模擬体験風景(みどり市民病院)



参加者の集合写真

留学生交流会 -Friendly Party 2024- を開催しました

2024年6月21日(金)、滝子キャンパス生協食堂にて、留学生後援会、留学生会、国際交流センター公式団体「NCU GO!」、「よいしょ」の共催により、「留学生交流会—Friendly Party 2024—」が開催され、本学に在籍する外国人留学生・日本人学生・教職員等、総勢約90名が参加しました。外国人留学生の司会進行のもと、グループでの自己紹介や、留学生の母国・大学紹介のプレゼンテーション、チーム対抗のクイズ大会が行われました。母国・大学紹介では、タイ、インドネシア、ベトナム、ドイツ、エジプトの留学生による発表が行われ、参加者はそれぞれの発表に関心深く耳を傾けました。クイズ大会では、回答を話し合い、正解発表時に盛り上がりを見せるなど、交流を深めました。

大学院 医学研究科 大学院 看護学研究科

国立台北護理健康大学学長が本学を訪問しました

2024年7月5日(金)、台湾の協定校である国立台北護理健康大学の吳淑芳(Shu-Fang Wu)学長と林莉如(Li-Ju Lin)国際教育センター部長が本学を訪問されました。浅井学長、明石看護学研究科長との挨拶後、医学研究科、看護学研究科の関係者と今後の交流活動について意見交換を行いました。昨年に引き続き同大学では8月に13日間にわたってTraditional Chinese Medicineプログラムが開催され、本学から6名の学生が参加します。意見交換では韓国も含めた3地域での交流や大学院レベルでの学生交換の可能性について話し合われました。



吳学長と浅井学長によるギフト交換



医学研究科・看護学研究科との意見交換



発表の様子

留学フェアを開催しました

2024年7月12日(金)、学生が留学について考えるきっかけづくりを目的として毎年開催している「留学フェア」をオンラインにて開催し、留学に興味を持つ学生を中心に約35名の参加がありました。

前半では留学についての説明に加えて、ルートヴィクスハーフェン経済大学(ドイツ)、チュンアン大学(韓国)、文藻外語大学(台湾)への交換留学に実際に参加した学生からの体験発表がありました。留学先での学びや日々の過ごし方などについて発表が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。後半では地域ごとに少人数に分かれてグループ相談会を実施しました。現地での様子や留学に必要な準備などについて質疑応答が行われ、活発に情報交換がされました。

看護学部

韓国のハルリム大学看護学部学生らが短期研修で訪れました

2024年7月1日(月)から5日間、本学の海外拠点設置合意校である韓国のハルリム大学から看護学部生6人を受け入れ、韓国の少子化や子育て支援策、産後院についてのプレゼンを行いました。その後、本学の看護学部生と日本と韓国の少子化問題に対して活発な討論を行い、学生間の交流を深めました。また、病院実習、演習参加、中保健センターと東部医療センター見学、名古屋市子育て応援拠点にも参加しました。



プレゼン後の集合写真

学生の活躍

医学部 経済学部 人文社会学部 看護学部



中日SDGsフェアに参加しました

2024年8月24日(土)、ウインクあいちで開催された中日SDGsフェア(主催:中日新聞社)に参加しました。当日は、SDGsに関わる取り組みの1つとして、医療系学生に新しい教育プログラムを提供する「PICo Project」の活動を実践する学生団体「medicalHUB」のメンバーが活動報告をしました。このほか、本学SDGsアンバサダーである、学生サークル「サステナカレッジ」のメンバーが出展ブースでのごみ削減を考えるワークショップを運営するなど、本学のSDGs達成を目指す取り組みを多くの方に伝えることができました。

- medicalHUB: 堀田さん(医学部4年)、長坂さん(医学部3年)、蟹江さん(医学部2年)、近藤さん(医学部2年)、川嶋さん(人文社会学部2年)、長谷川さん(看護学部3年)、夫馬さん(看護学部3年)
- サステナカレッジ: 池田さん(経済学部3年)、江口さん(経済学部3年)、楓さん(経済学部2年)、岩田さん(人文社会学部2年)



medicalHUB、サステナカレッジの学生とSDGsセンター長

芸術工学部

卓展2024を開催しました

2024年8月16日(金)~18日(日)、芸術工学部の学生による作品展示会「卓展2024」を開催しました。4年生をリーダーとしてさまざまなジャンルのプロジェクト(=卓)を立ち上げ、学科・学年の垣根を越えて作品を制作しました。CG・ゲーム、プロダクトデザイン、モビリティデザイン、サウンドデザイン、建築、サービスデザイン、グラフィックデザインなどの展示を行い、多くの来場者からご好評をいただき、大盛況のうちに終了しました。



モビリティデザインの卓



建築の卓



↑お祭り1日目。献灯提灯が幻想的でした。



お祭り2日目。あいにくの雨でしたが、移動範囲を縮小して大山(獅子山)の引き回しをしました。→

経済学部

第35回 堀川まつりに参加しました!

2024年6月1日(土)~2日(日)に開催された「第35回堀川まつり」に経済学部の濱口泰代ゼミ3年生がスタッフとして参加しました。準備から当日の実施および片付けまで携わることで、地域活動を運営する大変さ、多くの方々と協力し合う楽しさなど、様々な学びを得ることができました。間近で見るまきわら船や花火はひととき美しく、感動しました。これからも地域活動や伝統文化を守り、活発にする活動を続けていきます。

堀川まつりの様子は、6月12日(水)にCBCテレビ番組「チャンネル!」で放映されました。

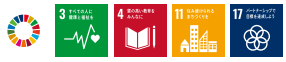


動画はこちらからご覧いただけます→

データサイエンス学部

第98回 日本感染症学会学術講演会・第72回 日本化学療法学会総会合同学会でデータサイエンス学部の学生が口頭発表をしました

2024年6月27日(木)~29日(土)に開催された第98回日本感染症学会学術講演会・第72回日本化学療法学会総会合同学会において、本学データサイエンス学部2年生河井千茜さん、渡部碧菜さんが「空間一時間解析から見た日本におけるCOVID-19の疫学—これまでと今後」という演題で口頭発表をしました。今回の発表はデータサイエンス学部の学生課外プロジェクトでの研究成果です。学部一期生として教員の指導を受けながら積極的に研究プロジェクトに取り組み、成果を収めることができました。



学生の受賞

※学年は受賞時

医学部

第121回 日本内科学会講演会 医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ 2024東京 優秀演題賞

＜演題＞COVID-19感染後に非乾酪性肉芽腫による
びまん性粒状影を呈した1例

＜受賞者＞医学部6年生 蟹江 麻由 さん



第145回 日本薬理学会近畿部会 「優秀発表賞」

＜演題＞骨芽細胞分化におけるPannexin3と
ATP受容体P2X7の役割

＜受賞者＞医学部4年生 丹羽 彩乃 さん



薬学部

大学院 薬学研究科

Tongali ビジネスプランコンテスト2024 「なごのキャンパス賞」

＜題目＞

converted suspension-type human primary
hepatocytes as plateable human primary
hepatocyte as a novel in vitro model at
affordable price

＜受賞者＞薬学研究科

臨床薬学教育研究センター 臨床薬学分野
博士課程4年生 Raghda Shahinさん



日本薬学会 第144年会 学生優秀発表賞【ポスター発表の部】

(写真左から)

＜演題＞1,3-シクロペンタンジオン構造の新規有機変換：
5/5/4三環性骨格の構築と機構解析

＜受賞者＞薬学研究科薬品合成化学分野 博士後期課程3年
小林 誠 さん

＜演題＞Hydropersulfideの蛍光検出とラベル化の両立を志向した
プローブの開発

＜受賞者＞薬学研究科薬化学分野 博士前期課程1年
平尾 景尚 さん

＜演題＞ヒト肝星LX-2細胞におけるCLC-3クロライドチャネルの機能解析

＜受賞者＞薬学部細胞分子薬効解析学分野 薬学科5年
森 鈴菜 さん

＜演題＞PTPシートリサイクル活用による薬局での服薬状況確認トライアル研究

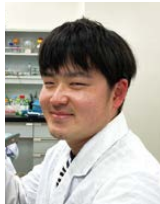
＜受賞者＞薬学部臨床薬学教育研究センター 薬学科4年
三井 すずか さん

日本薬学会 第144年会

学生優秀発表賞【口頭発表の部】

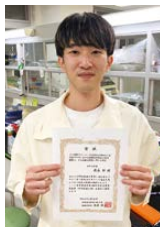
＜演題＞神経細胞の細胞膜スフィンゴミエリンに
与える分泌タンパク質リリーンの影響

＜受賞者＞薬学研究科病態生化学分野
博士課程1年 竹腰 祐斗 さん



＜演題＞リン脂質フリッパーゼATP8A1/ATP8A2
二重欠損マウスにおける神経変性発症の
分子機構と、その治療法開発に関する研究

＜受賞者＞薬学研究科病態生化学分野
博士前期課程1年 徳永 柊 さん



交流会だより

薬学部同窓会「薬友会」

名古屋市立大学薬学部は、明治17(1884)年に創立された名古屋薬学校を前身校とし、長い伝統をもつ学部です。名古屋市立大学薬友会は、この伝統ある薬学部の卒業生、大学院修了生、在学生、研究員、教員からなる同窓会です。会員相互の親睦と学識の向上をはかり、薬学部・薬学研究科の発展と社会文化に貢献することを目的としています。

薬学部は創立140周年を迎え、本年9月22日(日)に記念式典・記念講演(前高知県立牧野植物園園長・水上元名誉教授)・祝賀会、および、薬学部見学会(ホームカミングデー)を開催するとともに名古屋市立大学薬学部140年の歩みと薬友会所蔵資料目録を発行いたします。開催報告をホームページに掲載する予定なので、ぜひご覧ください。



田辺通キャンパスに建つ薬友会館
(薬学部創立100周年記念事業で建設)

薬友会HP→



会計報告

2024年2月18日(日)の令和5年度名古屋市立大学交流会総会にて、令和4年度の会計報告が行われました。

この会計報告は、1年間の収支の内訳を示すことにより、交流会がどのような活動を行ってきたかを可視化したものです。

令和4年度の収入は19,137千円(前年度繰越金含む)、支出は2,605千円、次年度繰越額は16,532千円でした。

交流会ウェブサイトにて令和4年度の会計報告を掲載しておりますので、こちらもご覧ください。

会計報告はこちらから→



PRIZE 受賞

※受賞期間:2024年3月~2024年7月頃 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載



■医学研究科



第23回 日本再生医療学会総会 優秀演題賞
 <受賞者>
 医学研究科 神経発達・再生医学 特任助教 松本 真実
 <題目>
 細胞接着制御因子の活性抑制は 新生ニューロンの移動促進および 脳機能回復に寄与する



第121回 日本内科学会講演会 医学生・研修医・専攻医の 日本内科学会ことはじめ 2024東京 優秀指導者賞
 <受賞者>
 医学研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学 講師 金光 禎寛



日本アンドロロジー学会 第43回 学術大会学会賞 (基礎部門)
 <受賞者>
 医学研究科 産科婦人科 西部医療センター 助教 北館 祐
 <題目>
 ヒト精細管における精子形成細胞と 幹細胞の密度定量解析



PTCOG62 Young Investigator Award
 <受賞者>
 医学研究科 放射線医学 西部医療センター 助教 中島 晃一郎
 <題目>
 手術可能なステージI非小細胞肺癌 に対する画像誘導陽子線治療: 第II相試験による7年生存率と 患者QOL評価に関する報告



JIC Reviewer of the Year 2023
 <受賞者>
 医学研究科 感染症学 東部医療センター 教授 伊東 直哉



第15回 日本環境感染学会 上田Award
 <受賞者>
 医学研究科 感染症学 東部医療センター 助教 赤澤 奈々
 <題目>
 静岡県立静岡がんセンターにおける VREアウトブレイク事例の 単施設後方視的研究 -VRE獲得リスク因子の検討-

■薬学研究科



2024年度 日本薬史学会奨励賞
 <受賞者>
 薬学研究科 生薬学分野 教授 牧野 利明
 <演題>
 漢方薬の原料として使用される 生薬に関する薬史学研究

■東部医療センター



日本糖尿病眼学会 第8回 メディカルスタッフ奨励賞 「掘賞」
 <受賞者>
 東部医療センター 看護部 看護師 城 光映

■みどり市民病院



日本CT技術学会 第12回学術大会 最優秀研究発表賞
 <受賞者>
 みどり市民病院 放射線技術科 技師長 大橋 一也
 <題目>
 Photon-counting detector CT における乳腺CTの撮影管電圧と 再構成条件の検討



教員著書・発行物紹介

第二次世界大戦期東中欧の 強制移動のメカニズム

著者:
 人間文化研究科 教授 山本 明代
 出版:2024年2月26日
 刀水書房



次世代を育てる キャリア戦略

著者:
 進化型実務家教員 養成プログラム 実施委員会
 出版:2024年3月30日
 (電子書籍)



身体がますますわからなくなる

著者:
 芸術工学研究科 准教授 小鷹 理理
 出版:2024年7月20日
 大和書房



街の歴史建築を訪ねて 愛知・名古屋を彩った 近代和風建築

著者:
 名誉教授 瀬口 哲夫
 出版:2024年8月1日
 <n>BOOKS



「名市大ブックス」シリーズ最新刊 第17巻・18巻を出版!

社会貢献活動の一環として2020年から出版を続けている「名市大ブックス」シリーズ。その最新刊となる17巻・18巻を出版しました。それぞれテーマとなるキーワードは「予防医療」と「データサイエンス」。ぜひともご一読いただき、学びを深めてみてください。



詳細はこちら↑

17巻: 予防医療が紡ぐ幸せな健康未来

~みどり市民病院・みらい光生病院の挑戦~

18巻: データサイエンスが拓く未来





イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
9.25 WED - 11.23 SAT	市民公開講座 健康・子育て・災害など多彩なテーマで11講座	場所:各キャンパスにて開催 費用:500円* ※第6回のみ、実験に用いる材料費として別途1000円を徴収。	詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。
11.16 SAT	愛知銀行×中京銀行×名古屋市立大学共催講座 集え、未来の経営者! ゲームで学ぶ社長の仕事	13:00~16:00 場所:滝子(山の畑)キャンパス 2号館 アクティブラーニング室 費用:無料	詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。 ※対象:小学4~6年生とその保護者
10.27 SUN - 12.8 SUN	なごや看護実践セミナー ①現場に生かせる認知症看護 講師:みらい光生病院 認知症看護認定看護師 蟹江 梓 ②急変させないためのアセスメント能力を高めよう 講師:名古屋市立大学病院 救急看護・小児救急看護認定看護師 加藤 紀子、寺澤 涼子、稲尾 景子 ③知っておきたい!高齢者と誤嚥性肺炎の関連性 講師:みどり市民病院 摂食嚥下認定看護師 山崎 美代、池田 真弓、認知症看護認定看護師 鈴木 千世 ④心不全を知ろうー地域で心不全患者を支えるためにー 講師:名古屋市立大学病院 慢性心不全認定看護師 川瀬 麻友香 ⑤臨床倫理の4分割表を使いこなす 第1部 概論(臨床倫理の4分割表をまとめる上でのポイント) 第2部 臨床倫理の4分割表を用いた事例検討会 講師:名古屋市立大学大学院看護学研究所 澤田 美和	場所:桜山キャンパス ①10月27日(日) 10:00~15:00 受講料:4,000円 開催方法:対面 ②11月4日(月) 9:30~15:00 受講料:5,000円 開催方法:対面 ③11月9日(土) 13:00~15:00 受講料:2,000円 開催方法:対面 ④11月23日(土) 9:00~12:00 受講料:3,000円 開催方法:ハイブリッド ⑤12月8日(日) 第1部 10:00~12:00 第2部 13:00~15:00 受講料:第1部のみ 2,000円 第1・2部 4,000円 開催方法:第1部 ハイブリッド 第2部 対面	申込方法:名古屋市電子申請、メール ①締切日:10月14日 ②締切日:10月17日 ③締切日:10月24日 ④締切日:11月4日 ⑤締切日:11月18日 ※対象 ①保健医療職者 ②看護師 ③看護師と看護補助者、介護職の方 ④看護職 ⑤看護職者 詳細はこちら↑
10.17 THU	看護研究のすすめ「研究の個別相談」 講師:名古屋市立大学大学院看護学研究所 宮内 義明、井上 高博、江 啓発	9:00~16:00 場所:桜山キャンパスまたはオンライン(Zoom) 受講料:無料(30分程度)	事前予約(10月7日締切)。 当日の対面参加も受け付けます。 申込方法:メール ※対象:看護研究を実施するに あたり疑問や悩みがある方 詳細はこちら↑
12.12 THU - 13 FRI	2024 NCU拠点校シンポジウム 講師:本学および各海外拠点設置合意校教員	両日とも 9:30~18:30(予定) 場所:名古屋市立大学病院3階大ホール 費用:無料	申込不要 ※対象:本学および海外拠点設置合意校の教職員・学生

令和6年度 秋のオープンキャンパス日程

学部により開催日程が異なります。
詳細は本学ウェブサイトをご確認ください。



- 医学部・医学科/10.26 SAT
- 医学部保健医療学科
リハビリテーション学専攻(指定学校申請中)/12.14 SAT
- 薬学部/10.26 SAT / 27 SUN
- 経済学部/11.9 SAT
- 人文社会学部/11.9 SAT
- 芸術工学部/10.19 SAT
- 看護学部/10.12 SAT
- 総合生命理学部/11.16 SAT
- データサイエンス学部/11.9 SAT

NCU FES. 2024 大学祭日程

	日程	開催場所
川澄祭	10.12 SAT / 13 SUN	桜山(川澄)キャンパス
芸工祭	10.19 SAT / 20 SUN	北千種キャンパス
薬学祭	10.26 SAT / 27 SUN	田辺通キャンパス
市大祭	11.9 SAT / 10 SUN	滝子(山の畑)キャンパス

寄附顕彰



大学振興基金

■個人

- 10万円以上 富田 夏夫 様
- 5万円以上 水野 清二 様
- 1万円以上 鈴木 進吾 様、長谷川 文人 様、林 義一 様、藤原 正人 様、水谷 秀樹 様
- 5千円以上 鈴木 愛子 様、鶴元 信行 様、松原 淳 様、劉 勝彦 様
- 非公表 和泉 弘 様、伊奈 郊二 様、井上 勝治 様、大坪 暁子 様、蟹江 浩 様、鬼頭 順子 様、木村 憲司 様、小林 いく子 様、坂本 博充 様、高橋 昂暉 様、田口 真波 様、田澤 正浩 様、築地 信 様、夏目 茂治 様、橋本 公 様、吉田 新一郎 様、和田 由美子 様

名市大生みらい応援基金

■個人

- 5千円以上 松原 淳 様、劉 勝彦 様
- 非公表 田口 真波 様、築地 信 様、山口 みほ子 様、和田 由美子 様

※五十首順。2024年4月1日から2024年6月30日までに寄附をいただき、公表に同意された方。
※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が入記期間に該当する方。



【SDGsのアイコン(1~17のGOAL)】

SDGsとは「Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標」の略称で、17のGOALが設定されています。本学もSDGs達成に向けた活動を推進しているため、関連するGOALのアイコンを各記事に表示しています。

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想などをぜひ総務部 広報室までお寄せください!

▶▶▶ E-mail : ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp